

山形県公立大学法人 教育振興会会報

令和2年度 No.3

(通巻第168号)

令和3年1月20日発行

(発行所) 山形県公立大学法人 教育振興会
〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1
電話 0238(22)7330 代
FAX 0238(22)7333
(印刷所) 有限会社 富士印刷

キャンパス点描



百妻祭実行委員



祭大オーブンキャンパス



短大正面 オキザリス



短大玄関

ゼミ旅行を始めた理由

今年にはコロナ禍で行けないが、毎年この時期にはゼミ旅行で韓国を訪れる。この旅行の始まりは、日本史学科のある先生が、かつて史学実習で韓国へ学生を連れて行く際に筆者も同行していた頃に遡る。この先生を仮に「OQ先生」と呼んでおこう。

OQ先生との旅は、可笑しいことだらけだった。初めての仁川空港でOQ先生と置き去りにされ、館内放送で呼び出された話(OQ先生は筋金入りの方向音痴であった)。誕生日割引の航空券を安く買おうと、事前に予約画面にアクセスしたら、回線が詰まって誰も買えなかった話。奈良の石舞台古墳そっくりのコンドル(支石墓)の写真を事典で見つ

せきれい

けて、学生を現地に引き連れられたら、実物がものすごく小さかった話。

OQ先生が急逝された後、筆者はこの旅をゼミ旅行という形で引き継ぐことにした。文字も読めず言葉も通じない外国で、それこそその土地の人情に触れながら旅を続ける。「クルワを出でよ」という言葉の意味を、OQ先生の代わりに、この旅を通して学生たちに伝えられたらと思う。

本棚で迷路がでたら膨大にあったOQ研究室の蔵書の部は、本学の附属図書館に寄贈されている。OQ先生が嬉々として見せびらかしていた、あのコンドルの写真が載った大百科事典も相変わらず書架に並んでいる。機会があれば、ご覧頂きたい。

山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科教授 亀ヶ谷雅彦

ご挨拶

山形県立米沢栄養大学
学生部長 金光 秀子

新年明けましておめでとうございませう。米沢栄養大学、米沢女子短期大学の在学生および保護者の皆様にとりまして、良い年になりますようお祈り申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルスという目に見えない敵と戦い、ウィズコロナという時代にも突入いたしました。そのような状況下において両大学では、1ヶ月の遠隔授業の後、感染予防対策をしながらの対面授業を開始いたしました。慣れない遠隔授業については、我々教職員はもとより、在学生および保護者の皆様のご不安はいかばかりかとお察しいたしましたが、学長

の指示のもと取り組んでまいりました。新型コロナウイルス対策における教育方針を快く見守りいただき感謝申し上げます。

また、授業の後倒しにより夏休みも返上することになり、後期授業はかなり凝縮されたカリキュラムになりました。しかし「学びたい」という気持ちが続いてくると、学生達の忍耐強さにも日々感じているところです。

学生支援では、年度始めの教科書の郵送、パソコンの整備、また学生生活の継続に支障がでるような学生に対して「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」および、県の「山形県オンライン授業等環境整備交付事業」給付金の支給等、学生一人ひとりの声を聴きながら、教務学生課を中心に取り組んでまいりました。私は、昨年4月より米沢栄養大学の学生部長を拝命いたしました。周りの方々から助けていただきながらではあります。が、昨年に引き続き、教育支援、進路支援等に取り組んでまいります。今後とも両大学への協力ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

合格等体験談

合格体験談 編入生



山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科
二年 高橋 百華

入学当初より編入学希望でしたが、学びたい分野を絞れず不安でした。しかし、二年の秋に災害ボランティアに参加したことや環境社会学の授業を通して、災害について深く関心を抱くようになり、高崎経済大学地域政策学部を目指すようになりました。併願の対策も含めて、休日も学校に来て勉強をしてみました。英語は北山先生、小論や専門については岡先生、亀ヶ谷先生、庄司先生にご指導いただきました。先生方にはオンライン面でも支えていただき、感謝の思いで一杯です。また面接はキャリアセンの先生方や友達と対策をしました。

合格への鍵は対策を早いうちから行うことです。不安に感じている人は先輩や先生に些細な事でも相談してみるといいと思います。応援しています！

自分を見つめ直して



山形県立米沢女子短期大学
日本史学科
二年 高橋 果歩

私は地元で貢献したい、人と関わる仕事がしたいということを軸に就職活動に取り組み、株式会社デューティフュームに就職が決まりました。

就職活動では、企業説明会への参加、面接練習を積極的に行ってきましたが、一番重要だと感じたことは「自己分析」です。

「自分と向き合う」というのは簡単に思えて難しいものです。自分のことを問われる場面は必ずあります。私は自己との対話を重ねることで進路の軸を見つけることができました。

さて、何から始めればいいのか困っている後輩の皆さん。まずはキャリア支援センターに下書き用の履歴書を頂きに行きましょう。長所や短所など書けるところから書いてみるだけで大きな歩に繋がるはずですよ。

就活を通して



山形県立米沢栄養大学
健康栄養学科
四年 佐藤 咲良

私はこの春、日清医療食品株式会社に内定をいただきました。

「自分に自信を持つこと」と「自分の将来に妥協しないこと」を大切に就活に臨みました。面接はWEBの時もあり、自分の意思を伝えるのがとても大変で、対面で面接を行うことがどれだけ大切かを考えさせられました。

今年度はコロナの影響で多くの企業説明会が中止や延期となり、就職できるのことも不安な気持ちになりました。しかし、ほかの人も同じ状況と考え、友人の頑張っている様子がとても励みになりました。卒業までに管理栄養士取得を目指し、就職しても初心を忘れずに多くの人を笑顔にできるように精進していきたいと思っています。

後輩の皆さんも就活に対して不安を抱えていると思いますが、目標を持って最後まで妥協せずに頑張ってください。

キャリア支援センター 便り



キャリア支援センター
エンプロイメントアドバイザー
井上 信子

本年4月からキャリア支援センターで毎週水曜日にお世話になっております。これまでの管理栄養士経験を活かし、また山形県栄養士会の助言もいただきながら、栄大生のキャリア支援に努めてまいります。よろしくお願いたします。

7月に対面授業が始まると同時に、4年生は医療機関及び保健所、健康センターなどでの臨地実習が始まりました。現在、私自身実習生受け入れ病院のついで勤務しておりますが、本学学生が真摯な態度で実習に臨む姿に非常に好感が持てました。感染予防対策のため例年とは異なった実習内容となりましたが、大学での学びと統合して今後の仕事を考えるの助になったと確信しております。

9月末には1年生から3年生を対象としてキャリアガイダンスが開催され、管理栄養士資格を活かした具体的な仕事について説明をさせていただきました。本年はコロナ禍にあつて、昨年までの就職活動が前例として当てはまらないような状況にあります。このことを踏まえ、特に3年生は目指す就職先を明確にして早めに準備し就職活動をするのが望まれます。まだ決まっていない、何をしたいかわからない、漠然とした不安を抱えているなどの学生に対しては、その思いを聞きながら、学生自身の考えを整理することができるよう支援してまいります。

もちろん1年生、2年生のキャリア相談を何度でもお受けしております。毎週水曜日の限られた時間ですが、学生のみならず相談相手として活用いただけるように努力してまいります。



OGの話聞く会

(就職編・公務員編)の実施について

山形県立米沢女子短期大学
キャリア支援委員会副委員長 後藤 和也

去る十月十九日に米短OGの話聞く会(就職編)・二十三日に同(公務員編)が実施されました。希望の進路を実現させたOGに、就職活動や公務員試験の際に工夫した点や現職のやりがい等をお聞きし、学生のキャリア形成支援に資することを目的に例年実施しています。

両日とも40名以上の参加があり、身近な先輩の話に熱心に耳を傾ける様子が窺えました。質疑応答では活発に先輩たちと語り合う姿も見られ、学生にとつて有意義な時間になったようです。

人生のロールモデルとなり得る先輩が後輩を指導するのは、本学の良き伝統でもあります。学生の皆さんもぜひ希望のキャリアを実現され、いつの日か後輩たちに経験談を語ってほしいと願っています。

進路速報

キャリア支援センター副センター長
布施 信男

十二月十五日現在の進路状況をお知らせします。今年度は新型コロナウイルス感染症による影響などの要因もあり、就職内定率は、栄養大九七・五%、短大五・五%と、公務員合格者も含めて前年度同時期の実績を下回っておりますが、編入学の合格実績はほぼ前年度並みとなっております。

さて、後期に入り当センターではキャリア支援計画に基づき、来年度就職活動本番を迎える短大1年生及び栄養大3年生に対して、就職支援セミナーやワークショップの開催、OGの話聞く会、公務員勉強会を行い、就職活動を開始するに当たっての意識付けと、編入学試験に向けての英語小論文指導などの対策を実施しているところです。

編集 後記



新年あけましておめでとうございます。二〇二二年が皆様にとって佳き三年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年に引き続き「正しく知り、正しく行動する」を基にウィズコロナを実践していきたいものです。次号は今年度最後の号となり、卒業を控えた学生の声と進路状況についてお送りする予定です。

(書記 鈴木郁子)

オキザリス「花言葉」輝く心

表紙写真のオキザリス(Oxalis)は西洋かたばみは生命力が強く、世界中に八五〇種以上も存在するといわれる葉が1トの形で愛らしい。

新任の ごあいさつ



山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科
講師 高浜 快斗

経営理論や経営情報論に関連する科目を担当している高浜快斗と申します。

私は人生の半分を関東圏、もう半分を関西圏で過ごしてきました。米沢の地に来るまでは大阪府に住んでおり、大学院生として暮らしていました。米沢への採用が決まると、方々から「米沢は美味しいもんがあるからええな」という連絡をいただきました。特に米沢牛は関西圏でも有名です。しかし、今の私が欲しているものは、米沢牛ではなく極厚の防寒着です。この原稿も若干震えながら書いています。

ここからは真面目な話です。新型コロナウイルス感染症の影響によってオンライン形式の授業が諸大学で採用されています。さらに、その新しい授業形態の成果がフィードバックされることで、従来の大学教育のあり方が見直されつつあります。学生側も教員側も環境変化に適応し、新たな最適解を模索していく時期なのだと感じます。環境に適応できない組織の多くは時間とともに淘汰されていくと思われ、同時にそうなるはならないとも思います。では、持続可能な機関のあり方とはどのようなものなのでしょうか。社会の多様化が実現しつつある時代、変革と発展を追求する教育研究機関の構成員として、諸課題に取り組んでいきたいです。

吾妻祭中止について



第二十六回 吾妻祭実行委員会
副実行委員長
山形県立米沢女子短期大学
国語国文学科
二年 笹原なつみ

毎年、風が一段と冷たくなるころ、吾妻祭の季節がやってきました。吾妻祭は山形大学工学部、米沢女子短期大学、米沢栄養大学の三大学合同の文化祭であり、毎年多くの住民のみならず足を運んでいたたいです。今年は十月三十日から十一月一日に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

今年は三大学合同の三と掛け、煌びやかで鮮やかな吾妻祭にしたいの思いを込め、「燦」というテーマで昨年十一月から準備を進めてきました。大学から中止勧告を受け、悔しさややるせなさで胸がいっぱいになった瞬間のことは今でも鮮明に覚えています。

先日、サークル内のみで吾妻祭の代替イベントとしてスポーツ大会を開催しました。一時は開催が危ぶまれたものの、無事に成功し、大切な思い出となりました。最後に、今年度の吾妻祭の協賛などにご協力し、下さった皆様、心より感謝申し上げます。来年度、無事に開催できた時には、是非足をお運びください。よろしくお願いたします。



栄養大・米短大 オープンキャンパス2020開催

米沢栄養大では8月8日(土)に「ミニオープンキャンパス」(表紙写真)を開催し、生徒38名(ほか保護者38名)が参加しました。新型コロナウイルス感染症対策として、検温や消毒液設置、換気、席の工夫などを講じるとともに、暑さ対策にも配慮しました。また、WEB・オープンキャンパスも行って、広く大学紹介を実施しました。

米沢女子短大では8月29日(土) 国語国文学科・日本史学科と9月6日(日) 英語英文学科・社会情報学科の2回に分け、栄養大と同様に感染症対策を行い開催しました。両日で生徒162名(ほか保護者154名)が参加しました。現在は、WEBオープンキャンパスを開催中です。



東北学生夏季 テニストーナメントに参加して



硬式テニスサークル代表
山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科
二年 矢野 桜子

昨年シングルスで全国大会出場を逃した雪辱を期し、臨んだ令和2年度東北学生夏季テニストーナメント。コロナ禍で日程変更となり、編入学試験も控え、精神面での調整が大変でした。結果はシングルスベスト16ダブルス3位と目標には達しませんでした。しかし、この経験から今やるべきことに集中することを学び、入試の面接ではテニスから得たことを伝えることが出来、合格できました。感謝の気持ちも忘れず、これからも前向きに挑戦し続けていきたいです。



実習を終えた今



山形県立米沢女子短期大学
国語国文学科
二年 佐藤 玲夏

九月中旬、村山総合支庁総務課で三日間、実習を行いました。二日かけ山形北部開発促進協議会の巡回視察に同行させて頂いたことが印象に残っています。議長をはじめ、観光協会や国土交通省の方々へ様々な案件について、納得してもらえ、行政の難しさを目の当たりにし、とても緊張しました。他にも、幼児交通安全教室での指導や七月の大雨災害の現場視察などの貴重な体験をさせて頂きました。

実習を通し、長い目で見えて考える大切さや日頃の連携が一朝有事の際に大きな力発揮することを学べました。実習で終わりにするのではなく、県内の動きに関心を持ち続け、これからの進路に最大限活かしていきたいと思っています。

将来像を明確に



山形県立米沢女子短期大学
英語英文学科
二年 長瀬 未桜

9月に酒田市役所の社会教育文化課で、3日間インターンシップを行いました。本学の講義をきっかけに生涯学習に興味を持ち、その普及に携わってみたいと考え、8月に応募を決めました。課の事業や生涯学習文化財行政の概要を教えてください、生涯学習文化施設の見学、国指定史跡の展示作業の補助も行いました。

このインターンシップを通して、企業に配慮しながら公益を追求し生涯学習の機会を創出していくこと、市民にアプローチしていくことの難しさを学びました。今まで漠然としたイメージしか持っていなかった公務員という職業を、明確に捉える良い機会になったと思います。特に挨拶や言葉遣いなどの礼儀は日常生活から取り入れていき、今後の就職活動にも活かしていきたいです。

思いやりとは



山形県立米沢女子短期大学
英語英文学科
二年 奥 咲月

私は介護老人保健施設で五日間実習をしました。私が担当した利用者さんは、失語症や認知症の方で、今まで病気のある方と関わる機会がなかったので、それぞれの人に合わせた支援をすることはとても難しかったです。しかし、会話を重ねていくうちに支援することができるようになり、沢山の笑顔を見ることができました。お別れの際には涙を流しながら「おしよしな」といっていたとき、とても嬉しかったです。

私はこの体験で、相手のことを思うときは自身の価値観に囚われず、想像することが大切であり、それこそが思いやりであると気づきました。自身の視野を広げ、思いやりのある人間になれるよう、今後も読書や勉強を欠かさず、人との出会いを大切にしていきたいです。

実習を終えて



山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部 健康栄養学科
四年 小島原麻友

私は八月に村山保健所で五日間の実習をさせていただきました。例年とは異なり座学が中心でしたが、業務について詳しく教えていただき、保健所の役割を深く理解することができました。特に印象に残ったことは、栄養成分表示や健康栄養調査に関する講話です。栄養成分表示について事業者からの相談が多く、細かい規定などをわかりやすく伝える力が重要だと感じました。表示の正確さや見やすさなど、専門的な視点と消費者としての視点の両方が大切であることも学びました。また、県民の健康課題を改善するために他機関と連携していることも知り、関係作りが重要だと感じました。今回学んだ専門的な知識や社会人としての心構えを活かし、社会に貢献していきたいと思っています。

保健所実習を終えて

臨地実習(保健所)を終えて



山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部 健康栄養学科
四年 小野 詩織

庄内保健所で五日間実習させていただきました。管理栄養士の方が所属している保健企画課では、感染症対策や医療薬事に関すること、受動喫煙防止や生活習慣病予防など健康に関わる幅広い業務を行っています。管理栄養士は地域の健康課題改善に向けた様々な事業に関わっており、食や栄養だけでなく、健康にかかわる幅広い知識を身に付けていく必要があると感じました。特に印象的だったのは、「庄内ラーメンプロジェクト」の考案です。実際に自分たちで減塩や野菜摂取量増加を意識した事業展開を考えることでPDC Aサイクルに沿って事業が進められていることが改めてわかりました。この実習を通して、一人でも多くの方の健康増進に働きかけることが出来る管理栄養士を目指したいと強く感じました。

貴重な経験



山形県立米沢女子短期大学
国語国文学科
二年 内海 花

教育実習に行く前は不安が大きかったのですが、米短の先生方や実習先の先生方が支えてくださったりと、生徒の皆さんも協力してくださったので、安心して実習を行うことができました。実習中、特に大切だと感じたことは、「積極的に行動すること」です。実際の中学校で行う貴重な機会なので、積極的に生徒と関わったり、中学でしかできないことや、生徒の学びを深めるために授業でやってみたいと思った活動を取り入れたりしました。実際に中学校で過ごして生じた思いを大切にしながら取り組むことも大事だと思います。この実習を経て人前で話すことに自信が湧き、編入学試験の面接で堂々と話すことができました。今後の人生において自信につながる貴重な経験となりました。

博物館実習を終えて



山形県立米沢女子短期大学
日本史学科
二年 中島くるみ

私は八月中旬から下旬にかけ、新潟市歴史博物館にて実習をさせていただきました。不安ばかりで緊張していましたが、「日目」緊張しなくても大丈夫」という学芸員の方の一言で、力を抜いて取り組むことができました。中でも小学生向けの「昭和のくらし」展示についてのワークシート作りが印象深く、学年別に異なった内容を制作しなければいけません。楽しつつ展示に興味を持つてもらえるよう、分かりやすく伝えなければいけません。用紙一枚にたくさんの趣向を凝らしました。展示に関してのみでなく、それをどのように伝えるかを企画運営する仕事であることに、とても奥深さを感じました。雑務が多いと耳にする学芸員ですが、その仕事の魅力を再確認できた、充実した六日間となりました。

市民バス料金助成

大学法人及び教育振興会では、市民バスを利用する学生を対象として通年、助成を行っております。百円券十枚つづり、二百円券十枚つづりの二種類の回数券について購入代金の五割を助成するものです。

主に電車通学者が米沢駅と本学との間、朝は一時限目の講義に間に合うように、帰りは四時限目終了後直ちに乘れるようにバスダイヤが組まれています。その他にも学生が市民バスを利用する際には活用できます。

回数券の販売は、本学同窓会「さわらび会」に委託しており、大学内購買部にてお求め下さい。学生がこの助成制度を有効活用し、通学等の安全確保に努めていただければ、会員の皆様からもご指導をよろしくお願いたします。

